



パワー浜松ロータリークラブ週報 2014年11月16日号
本年度テーマ: Rotary Mind、Rotary Wayを確認しよう～
心で感じて・考えて・活動しよう～

パワー浜松ロータリークラブ (2014-15年度会長: 小林昭次)
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC



第556回例会(地区大会)11月16日 AM9:45～16:00

第556回例会は国際ロータリー第2620地区の地区大会となりました。

会場: グランドホテル浜松「鳳」

[プログラム] (9:20 ウェルカムステージとして、聖隷クリスファー大学、ハンドベル部有志による演奏により開始)

9:45開会点鐘、国歌斉唱、ロータリソング

開会の言葉、歓迎の言葉、物故会員への黙禱

RI会長代理紹介、来賓紹介



ガバナー挨拶

岡本一八ガバナー

「本日は、森島庸吉RI会長代理、ご来賓及びご参集頂きました皆様、ようこそおいでいただきました。ロータリーの目的は『友達づくり』そして『職業奉仕』であります。お互いの職業を通じて、より多くの社会奉仕に繋げるには、様々な職業人との交流が必須です。それには、この地区大会が絶好のチャンスであり、どうか本日は、多くの他のロータリアンと交流していただき、職業奉仕に役立てて頂きたいです。日頃から皆様をお願いしています、会員増強に関してですが、各クラブの運営も“未来志向”で、変革すべきところは変えて、会員一人ひとりの責務として臨んで欲しいと思います。

また、様々な奉仕活動を推進する為にも、ロータリアンがお互いに持てるものを持ち合い、皆で活動を盛り上げていくことが重要だと思えます。」(おおくの寄付、会員の叡智、経験)

来賓祝辞、RI会長代理挨拶、表彰、米山記念奨学委員会、米山奨学生講演

大会四委員会報告、大会決議案上程・決議

ガバナーエレクト、ガバナーノミニー紹介、次年度地区大会開催地発表

地区大会旗引き継ぎ、RI会長代理講評、

12:30 閉会点鐘

大交流会〈Part1〉

・ ジャズ演奏・お茶会・大道芸・ベリーダンス等

(クラブ研修リーダーセミナー同時開催)

14:00 大懇親会(大交流会Part2)

16:00 閉会



森島庸吉 R I 会長代理

「1600人近い登録者数の地区大会を祝福」

「岡本ガバナーとの三つの共通点」

「会員増強のための創意工夫」

「1万8000人米山奨学生の学友」



ロータリー米山奨学生 ファン・イン・チー様

小澤邦比呂地区米山記念奨学委員長

「ロータリアンから学んだ精神が、仕事に大きく活かされた」

1981年大学2年の時、浜松北RCの鈴木政治さんがカウンセラーをしてくださり、米山の奨学金を受けることができました。鈴木さんご夫妻はじめ、ロータリアンの皆さんは、故郷を離れた私が寂しい思いをしないよう、いつも温かく見守り、家族団欒の食事に招いて下さったり、日本を案内してくれたりしました。人のために尽くすロータリアンの皆さんの姿に感動し、学校では学ぶことのできない奉仕の精神を学ぶことが出来ました。

台湾に帰国後、1987年に会社を設立し、自動車開発の仕事で今まで頑張ってきました。

職場では自分に厳しく他人に優しく、人生の道場を考えて、力をあわせて、職業奉仕で社会に、お客様に、皆様に、信用を得る人生を歩む。日本滞在中に学んだこうした職業奉仕の精神が活かされています。



四委員会報告：①登録委員会（志田洪顕委員長）②資格審査委員会（高野孫左工門委員長）

③選挙委員会（積惟貞委員長）④大会決議委員会（中山正邦委員長）

ガバナーエレクト挨拶：野口 英一ガバナーエレクト

「同じことの繰り返しに進化はない」チャレンジすることで新たな繋がり等が生まれる。

